



# カリオン

Vol. 15



2011年12月

発行 姫路赤十字看護専門学校  
発行責任者 学校長 湯浅志郎  
編集責任者 事務部長 久保純一  
〒670-0063 姫路市下手野1-12-2  
TEL/FAX 079(299)0052(直通)

## 第113回生 厳かに戴帽



平成23年10月25日(火)、第113回生の戴帽式が厳かに行われました。

今日ではナースキャップを着用しないため戴帽式を行わない学校が増えています。しかし、戴帽式は単にナースキャップを頭に載せるだけの儀式ではありません。看護学生はキャップを戴くことで看護に対する熱意や責任感を意識して、看護師に求められる専門的な知識と態度を身につけることを決意する機会となります。

113回生の皆さんがこの日抱いた決意を忘れずに、頭に戴いた真っ白で清潔な凛としたナースキャップのように、清く誠実な看護師となることを期待しています。

(専任教師：藤田 美佐子)

### 行事予定 (平成23年12月～平成24年3月)

12月 25日(日)～1月6日(金) 冬季休業

1月 18日(水)～1月19日(木) 平成24年度一般入学試験  
1月30日(月)～2月14日(火) クラスⅠ基礎看護学実習Ⅱ

2月 19日(日) 第101回看護師国家試験  
20日(月)～クラスⅡ領域別実習開始

3月 7日(水) 卒業を祝う会  
9日(金) クラスⅢ卒業式  
20日(火)～4月3日(火) 春季休業  
26日(月) 国家試験合格発表

#### 姫路赤十字看護専門学校教育理念

本校は、赤十字の基本理念「人道」を看護実践で具現化する看護師を育成することを使命とする。看護は人間の健康生活にかかわるケアリングである。本校では、対象者と学生、ならびに学生と教員間のケアリングを目指してリフレクションを教育の基調とする。

##### 【教育目標】

- 1) 人道（ヒューマニティ）を基盤とする赤十字の思想に基づき、人間の生命と健康を守り、苦痛を予防・軽減し、尊厳を確保できる豊かな人間性を養う。
- 2) 人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として、幅広く理解する能力を養う。
- 3) 人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境とダイナミックな相互作用等の観点から理解する能力を養う。



- 4) 赤十字の基本原則を基盤とする看護専門職業人としての職業倫理観をもち、看護を実践できるとともに、最新知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力を養う。
- 5) 人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
- 6) 健康の保持増進、疾病予防と治療、リハビリテーション、終末期など、健康や障害の状態に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。
- 7) 看護の実践は「安全」で「安楽」を第一義とし、医療事故を未然に防止できる能力を養う。
- 8) 保健・医療・福祉制度と他職種役割を理解し、チーム医療を実践するとともに、人々が社会的資源を活用できるよう、それらを調整するための基礎的能力を養う。
- 9) 赤十字の諸活動に興味関心を持ち、将来、赤十字の理念のもとに活動する看護師として国内外で活躍できる基礎的能力を養う。

2009年4月 改訂

# 看護の心をのせて



## 戴帽生 喜びの声

伝統ある戴帽式を終えて、身の引き締まる思いでした。この道で業績を残された先人の方々に思いを馳せ、ナイチンゲールの「心を素直にひたむきに、あなたの道を邁進しなさい」という言葉を心に刻み、志は高く日々努力していきたいと思います。

(クラスI)



子供の頃から憧れだったナースキャップを戴き、やっと夢への一歩が踏み出せた気がします。半年間勉強し少し百分のめざす看護師像が見えてきた今の気持ちを一瞬忘れず、学び続けたいです。先輩や先生、両親など「おめでとう」と言ってくださった方々に感謝します。

(クラスI)

憧れのナースキャップを戴き、喜びと看護学生としての自覚を改めて感じました。

この気持ちを忘れず、これから出会う人との出会いを大切に、このナースキャップと共に理想の看護師を目指して頑張りたいと思います。

(クラスI)

入学後は慣れない学校生活にとっても不安でしたが、家族や先生方、そして何よりも一緒に頑張れる仲間のおかげで無事に戴帽式の日を迎えることができました。この感謝の気持ちを忘れずに、これから3年間しっかり頑張っていきたいです。

(クラスI)



## 誓いの言葉

私達はこの姫路赤十字看護専門学校に入学してからの半年間、共に学び、支えあいながら過ごしてきました。看護とは何かを考え、知識や技術だけでなく、患者様の気持ちによりそった看護をすることの大切さも学びました。

戴帽式を迎え、看護師の誇りであるナースキャップを戴いたことを嬉しく思うと共に、看護師を目指す者としての責任の重さを自覚しました。

これからも常にけじめを持って、前向きな姿勢で学び、確かな知識と技術を身に付けます。また、自己を磨き、人間性を高めることで、誰からも信頼される看護師になれるよう、努力を怠ることなく学校生活を充実させていきます。

私達をいつも支えてくださる方々に感謝の気持ちを持ち続け、初心を忘れることなく、それぞれが目指す看護師に向かって日々精進していくことをここに誓います。

(クラスI)

## 戴帽を祝う会

### 上級生から

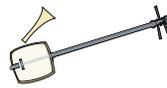
1年生の皆さん、戴帽おめでとうございます。私は戴帽式に参加して、一年前に同じように戴帽し、看護師になる夢と期待で胸がいつぱいになったことを思い出しました。実習や勉強などで多忙な学校生活ですが、ナースキャップを戴いた時の気持ちを忘れず、仲間と共に充実した学校生活を送って欲しいと思います。困った事があればいつでも相談して下さい。お互い百分のめぞす看護師になれるよう頑張りましょう。

(クラスⅡ)

## 記念講演

### 戴帽を祝う会について

戴帽式当日の午後2時より、「戴帽を祝う会」を開催しました。この会は、看護に限らず「この道一筋」で精進・活躍されている方をお招きし、専門職業人としてのあり方を考えたり異文化に触れたりする機会としています。今年は、ピアニストであり津軽三味線奏者でもある久保比呂誌さんと、管楽器奏者である金子鉄心さんをお迎えしました。



### 戴帽を祝う会を通して



先輩方からの歌や三味線の演奏など、たくさんの人に戴帽を祝っていただき、とてもうれしく思いました。先輩方からは手紙もいただき、先輩の優しさを改めて感じました。演奏は三味線だけでなく、見たことのない管楽器の演奏も聞くことができ、その音色に感動しました。

戴帽を祝う会を通して、ナースキャップの重みを改めて感じました。今後、先輩方を見習い、辛い時も苦しい時もみんな支えあい、誓いの言葉を忘れず、日々成長していけたらと思います。

(クラスⅠ)

## 魚の解剖

「生活行動から見たからだ・1」の  
魚の解剖を経験して

初めての体験だったので講義前は好奇心でいっぱいでした。今回は魚の解剖でしたが、腸がすごく長かったり胆嚢が緑色をしていたりと、私たちの身体と同じ部分がたくさんあることにすごく驚きました。人の命を預かる職を目指す者として、命の重さ、ありがたみを感じることが出来た講義でした。

(クラス I)



## 吸引演習

「フィジカルアセスメント」での  
吸引演習を行って

先日、授業で吸引演習を行いました。実際に人に対してカテテルを挿入するということで、施行前は緊張しました。先生の指導のもと口腔内はなんとかできたのですが、鼻腔内はやや深く入れてしまったようで、患者さん役に少し苦しい思いをさせていただきました。

今回の経験を通し、患者さんの様子を観察しながらスムーズな処置を行うことが大事だと感じました。

(クラス I)



クラス I

## トレーニングセンター



今年は、台風で延期となりましたが、全員が最後まで集中力をきらすことなく取り組むことができました。

災害救護訓練では1年生が傷病者役、2年生が救護者役となり、個人個人が自分の役割をしっかりと果たしました。今年は自然災害が日本各地でおこったので、実際の災害のことを考えながら真剣に訓練に参加することができたと思います。



また、準備や訓練を通して、協調性や責任の大切さを知りました。訓練後の達成感は充実した訓練になったことを物語っていると思います。

(クラス II)

## パネル展示

クラス II

10月に開催された関西看護学生研究大会において、学生による東日本大震災復興支援の活動報告を行いました。

私たちは、支援活動として募金活動を行ったり、復興への祈りを込めて千羽鶴を折ったりしました。これらの活動内容をパネルにし、研究大会の会場で展示しました。多くの参加者の方々に見ていただくことで、私たちが行った活動について知っていただく機会になったと思います。



この報告を通して、支援活動を今回限りのものではなく、これからも継続していきたいと感じました。

(クラス II)

## 関西看護学生看護研究大会

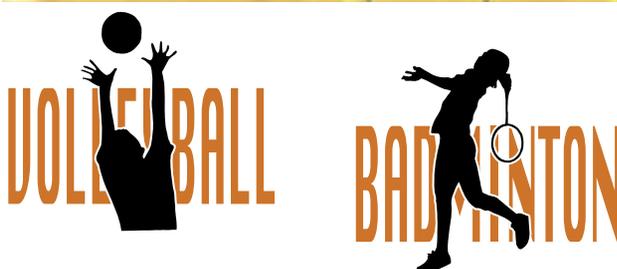
テーマ「多飲水傾向にある患者に対する関わり～患者の言動に注目したアプローチ～」

発表当日は、とても緊張しましたが、応援してくださった先生方や友人のことを思い出して、なんとか発表を終えることができました。発表後、交見室にて、他校の学生から意見や質問をいただき、お互いの看護観について語り合いました。また、精神看護の専門看護師の方からも御意見をいただき、改めて看護についてや看護師としての役割を考えることができました。今回の貴重な経験や学び・課題を今後の糧にしていきたいと思います。

(クラスⅢ)



クラスⅢ



## 球技大会



### 球技大会を主催して

今年の球技大会では、バレーボール、バドミントンを行いました。

普段あまり体を動かす機会がないので、年に一度の球技大会は心身共にリフレッシュできます。競技を通して、学生間はもちろん、お世話になっている病棟スタッフの皆さん、講師の方々とも交流を深めることができました。

スポーツの秋に相応しい白熱した試合ばかりで、とても楽しく充実した一日になったと思います。

(クラスⅡ：球技大会委員長)

# 講師紹介



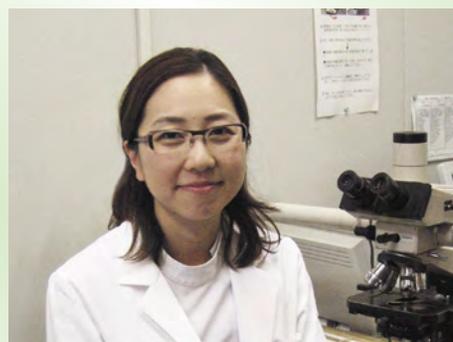
本年度後期より「精神看護学の概論」を担当しています。出身は死生学・老年行動学という心理学系の研究室です。

従いまして主に心理学的な観点からの講義になると思います。心理学的な観点とは、心理学の基礎知識を基盤にする事は言うまでもなく、科学的・合理的な判断を行うということです。但し、行動はどんな時でもあくまでも温かい看護師、そして自分自身の身を守る事のできる看護師を目指してください。

(精神看護学の概論講師：尾崎 勝彦)

「疾病の理論と原理」を担当する、病理診断科の内野です。普段は病院の検査室で、肉眼+顕微鏡を駆使し、患者様から採取、摘出された病変がどのようなものか診断しています。講義では病気のなりたちをいくつかに分類して学びます。からだに表れている症状から、その原因を想像していくための考え方を身につける助けになりたいです。

(病理診断科医師：内野 かおり)



「マタニティサイクルにある人々の看護-3」の講義を担当しています。何らかのリスクのある妊娠・分娩・産褥期の女性や新生児、その家族への関わりを学びます。一昨年までは正常経過の分娩・産褥期や新生児について講義を担当していましたが、学生の皆さんにお伝えしたいことは同じです。生命の神秘や大切さ、そしてリスクのない正常な女性は正常に経過出来るように、リスクのある女性についてはリスクが最小限となるよう看護師として関わることの大切さを学んでもらいたいと思っています。

(姫路赤十字病院4階西病棟看護係長：小林 仁美)  
母性専門看護師

歴史シリーズ

## 『藤製車椅子』

この車椅子は藤製です。日本では昭和35年頃にイギリスのものをモデルに、背もたれや座面が藤の車椅子が作られたそうです。その後、藤から布製へ、更に改良・研究が重ねられていきます。実際に病院でも、実習室でも使用されていたそうです。移転前は実習室にありましたが、移転後は遺芳の間に、現在は兵庫県支部の資料展示室に展示されています。

(副学校長：柳 めぐみ)



# クラスⅢ 夜間実習継続中



## 国立病院総合医学会シンポジウムに参加

平成23年10月7日、8日の2日間にわたり、岡山で第65回国立病院総合医学会が開催されました。シンポジウムは、「臨床と学校で統合実習にどう取り組むか」というテーマで、平成21年度より導入している夜間実習の現状と、今年度から始まる統合実習について発表しました。すでに統合実習を実施している学校もあり、学生の感想を聞いたり、看護学校独自の取り組みなどについて意見交換ができました。本校では11月から統合実習が始まりますが、学びの多い実習になるよう学生と共に頑張りたいと思っています。

(専任教師：神戸 真由美)

夜間実習では、母子同室の新生児・母体の観察や授乳状況の確認、夜間の新生児の活動パターンやそれに伴う母体の睡眠状況に配慮した関わりを見学し、日中への看護にどのように繋げばよいのかという事を学ぶことができました。また、破水で入院して来られた方に対して、助産師が観察だけでなく不安を受容するなど、分娩に向けての身体的・精神的なケアを行っている場面に立ち会わせていただきました。分娩を迎える産婦の看護と分娩を終えた後の褥婦の看護の違いを今回の実習で学ぶことが出来ました。

(クラスⅢ)



## 「私の受験対策」を発表して

兵庫県看護協会「看護大学・看護師学校進学説明会」  
(平成23年7月30日)



受験を控えた方たちに少しでも役に立ち、元気に前向きになれる話と思い、私の経験を発表させていただきました。辛くて長い受験生の時間を私も過ごしました。「冬はやがて春となる」は私の好きな言葉です。厳しい時期を乗り越え、必ず暖かな春が来ることを信じ、前進してほしいと思いました。また、私にとっても看護の道に進もうと決めた時の気持ちなど、大切なことを思い返し、気を引き締めてこれからも頑張ろうと改めて思う良い機会になりました。

(クラスⅠ)

## 学会発表

### 第47回日本赤十字社医学会総会

平成23年10月20日(木)・21日(金)  
福井フェニックス・プラザ、福井市体育館



メインテーマ  
「赤十字の明日を育てる ― 健康長寿日本の中で―」

- 発表者：柳 めぐみ  
「看護専門学校における育児短時間制度の導入」
- 発表者：田畑 淑子  
「基礎看護学実習直前に実施する模擬患者の参画による演習の意義 ― 学生の受け止め方に対する分析をととして―」



10月20日・21日秋晴れの日、東日本大震災での活動報告など日本全国の多職種の赤十字職員により福井で行われました。

111回生1年次の「臨床看護総論」の演習のまとめです。学生は模擬患者（地域住民）の語りや対話を通して、生活者としての対象理解などの貴重な体験をしていました。

発表後のディスカッションで、本校の課題である「模擬患者の確保」について示唆が得られました。

(教務主任：田畑 淑子)

## 新着モデル紹介

### 脳の水平断

日本赤十字社兵庫県支部より、実習室のベッドや模型を新しく購入していただきました。頭部水平断の紹介をします。人間頭部を11個に水平に切った模型です。この模型を活用して、皆さんが、脳を立体的に理解できると嬉しいです。

(専任教師：藤元 由起子)



### 小児病棟訪問



## ハロウィン特集

### 文化委員展示



ハロウィンとは、ヨーロッパを起源とする民族行事で、10月31日の晩に行われます。

学校エントランスに展示が行われました。

小児病棟訪問班は「ハロウィン」をテーマに劇や歌、貼り絵などを行い、入院中の子供達に少しの間でも楽しい時間を演出しました。

(専任教師：藤元 由起子)



## オープンキャンパス

10月2日(日)に平成23年度第5回目のオープンキャンパスが開催されました。今年度は5回で289名の参加がありました。昨年度より約50名多く、保護者の参加も増えました。施設の見学はもちろん、呼吸音の聴診などの体験や在校生との交流もでき、参加者に興味を持っていただけました。

(副学校長：柳 めぐみ)

## 入学試験のご案内

### 平成24年度一般入学試験

○出願期間：平成23年12月5日(月)～

平成24年1月5日(木)消印有効

(持参の場合は土・日・祝日及び年末年始を除く9時から17時)

○試験日：平成24年1月18日(水) 19日(木)



## 季節の花々



### 「シャコバサボテン」

シャコバサボテンが色鮮やかに、花を咲かせています。

シャコバサボテンはクリスマス頃に花が咲くのでクリスマス・カクタス、デンマークで多く育てられている事からデンマーク・カクタスとも呼ばれています。花言葉は「美しい眺め」です。ブラジルの山の樹木や岩に自生している植物です。

(専任教師：藤元 由起子)



## 編集後記

振り返ってみると、仕事の上でも私生活でも「もうだめだ」と思うことが何度かあった。その原因は何だったのか、どうやって乗り越えてきたのか、今となってははっきりと思い出せないこともある。悩んでいる時はその時間が永遠に続くような気がしてならない。しかし時間が解決することもある。後になれば忘れることもある。

辛い時は、誰かの力を借りて、何とか今をもちこたえよう。その後のことは、その時考えよう。この年になってやっとそう思えるようになった。

今年もあと少し、お世話になった皆様に感謝します。

(専任教師：名村 かよみ)

